

# 繁藤月報

〒789-0583

高知県香美市土佐山田町平山1748

天理教繁藤大教会

TEL 0887-57-9207 / FAX 0887-57-9246

なぜ神は理想の人間を創らなかつたのか

シリーズ「かしもの・かりもの」を深く掘る

vol.1.10

## ◆はじめに

早いもので、もう師走。今年は皆さんにとつて、どんな年だつただろうか。嬉しいことや楽しかったこともあれば、反対に、悲しいことや辛かつたこともあつたはず。しかし、誰しも最後は「今年もいい年だつたな」と締めくくりたいものだ。そんなことを考えていたら、ある疑問が浮かんできた。

なぜ親神様は、始めから理想の世界・人間を創らなかつたんだろう？

親神様は、この世と人間をお創りくださつた実の神様。そして私たち人間の元の親なる神様だ。されば、もつと良い世界、人間を設計できたんじやないだろうか。理想までいかずとも、願わくば怒りや悲しみよりも、少しでもプラスの幸せな気持ちが勝ればいいのに。

このたびの巻頭言は少し趣向を変えて、3つの短編コラムでこの問い合わせに向き合つてみたい。

## ◆ピクニックへ行くように

月日にわにんけんはじめかけたのわ  
よふきゆさんみたいゆへから (14号25)

親神様（月日）が人間をつくつた理由、それは陽

気遊山をしてる姿を見たいからだ。遊山とは、読んで字の如く、野山に遊びにいくことである。つまり今風にいふとピクニックだ。加えて、陽気遊山は以下のように表現される。

いつも豊年万作で、身体は丈夫で、病まず死なず弱りなく働ける。

天候は順調で、日中は晴天でそよそよ風。雨は夜中に降つて、朝方にやむ。それも月六べん。それで、みんなが楽しく働く。昼まで働いて、昼からはよふき遊び。みんなが野や山に出て、青天井の下で、天のめぐみを称えながら、遊び、たのしむ。

(神の出現とその周辺 高野友治著)

自然、身体、モノ、運命。この世の森羅万象、そのすべてに陽気遊山が見たいという神意が込められてゐる。これを「元のいんねん」という。それは因果応報という過去に縛られた暗いものではない。陽気遊山という未来につながつてゐる。人間の生きる目的は陽気遊山であり、これが人生の希望なのだ。天理教は、なんて朗らかな教えなんだろう。

## ◆完璧じゃない人間

最近我が家には絶賛「イヤイヤ期」の三歳の娘がいる。一度イヤと言い出したら、ほとほと手に負えない。まるで怪獣だ。でもその分、「お父さん」と抱きついてくる際の可愛さもひとしおである。

ただの親バカ発言だが、ふと思つたことがある。我が子といえども親の思い通りにはならないもので、どんな子だつて手がかかる。しかし、だからこそ愛しいのではないかと。



例えば、恋愛でもちよつとダメなところがある人の方が愛される。料理でも、ちょっと癖があつた方が、また食べたいと思う。最近流行つていてる「国宝」という映画もそつだつた。欠けているから美しいのだ。

人は誰しも満ち足りた状態、完璧を目指すが、人生において「遊びがある」ことこそ大事になるのではないだろうか。車のハンドルに遊びがあること。つまり、「ゆとり」「余白」があるということだ。そして、その「遊び」がどこにあるかといえば、一人ひとりの心にある。

をやこでもふうくのなかもきよたいも  
みなめへくに心ちがうで(5号8)

もしかしたら親神様は人間の設計段階で、あえて心という「遊び」をつくつたのかもしれない。

がみ合うのではなく、あなたにも私にも私にもある「心の遊び」を楽しんでいこう。

### ◆ 神も、人も、共に

「神人和楽」という言葉が私は好きだ。どちらか片方ではなく、神も、人も、和やかに楽しむ世界である。そこには相互に働くベクトルがある。親神様から人間には親心を。そして、子どもである人間からは感謝と親孝行を。神人和楽はこの相互関係が根本にあってこそ成り立つものだが、現実、これがなかなかうまくいっていない。それぞれの思惑にすれ違いが生じるからだ。

人間というは、身のうち神のかしもの、かりもの。

心ひとつが我が理。(明治22年6月1日)

きない。現に、人間は良い心も使えば、悪い心も使う。争いもするし、自分の私利私欲ばかり考えたりする。しかし、親神様はどんなときも見放すことなく、温かい親心をもつて我々を見守り、育んでくれている。

起こつてくる事柄に一喜一憂しながら、神人和楽にむかって人間が成人(成長)していく姿を見るのが、親神様からすると何よりも嬉しいものかもしれない。それは人間が我が子と思う親心と同じである。我々人間は、その親心をただ素直に慕つて、心を澄まし、互いに助け合いながら歩むことが、親神様への何よりの親孝行となる。

神も、人も、共に。神人和楽へむかう一番の鍵は、かしものかりものにあるはずだ。

### ◆ 結びに

全十回にわたつて連載してきた「かしもの・かりものを深く掘る」というシリーズも、今回で一区切りにしたい。来年以降は、十全の守護や元の理の教えを、連載で掘り下げていくつもりだ。

最後にお説いとお礼を一言。大教会の神殿大掃除を12月16日の朝8時半より行います。ひのきしんのお力添えいただれば、大変嬉しく思います。

少し早いですが今年一年、皆様には大教会の動きの上に、また私個人におきましても、多大なる御厚恩を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。どうか良いお年をお迎えください。

立教一八八年十二月一日

天理教繁藤大教会長

坂本輝男

【立教百八十八年十一月月次祭 祭文】

これの繁藤大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に  
天理教繁藤大教長坂本輝男慎んで申し上げます。

《繁藤大教会》 立教百八十八年十一月 祭典役割

## 【神殿講話】

(12月) 田村久徳

## 【しげとうtime おかえり講話】

(12月) 為田基紀

## 【教會長神殿当番】

(12月) 城幡・未見

(令和8年1月) 本訓・紋湧

## 【詰所教養掛】

(12月) 前半 空閑一将

後半 田村久徳

## 【詰所事務当番】

(12月) 秋月英希

(令和8年1月) 村上修

松下剛治

## 【ひのきしん】

○婦人会詰所ひのきしん

12月25日～26日(佐岡2名)

## 【五季づとめ】

十二月は五季づとめの月でございますので、左記の通り上級を通じてお納め下さいますようお願い申し上げます。

## 【しげとうtime おかえり講話】

(12月) 為田基紀

## 記

一、五季づとめ

三、〇〇〇円

一、御神酒料

三〇〇円

一、御鏡料

一〇〇円

## 合計

四三〇〇円

## 【心定め提出のお願い】

各教会には、この月報に来年の心定めの用紙を同封いたしております。〆切は12月20日とさせて頂きますので、恐れ入りますが遅れなうようご提出の程、お願い申し上げます。

## 【立教189年春季大祭について】

教会本部より、立教189年の各教会での春季大祭のつとめ方についての通達がございました。別紙、春季大祭のつとめかたについてと、祭文例を同封致しておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

## 【仕切り月 希望月提出のお願い】

来年も引き続き、年に一度、仕切り月を定めて頂き、大祭・月次祭を賑やかに勤めさせて頂きたいと存じます。各教会には先月号の月報に、来年仕切り月を勤めて頂く希望月の提出用紙を同封いたしておりました。提出の締切りが今月20日までとなつております。こちらも恐れ入りますが遅れないよう、ご提出下さいますよう、お願いいたします。ファックスでも結構です。

## 【第2回教祖百四十年祭帰参調査】

教祖百四十年祭も段々と迫つて参りました。ご本部から帰参者数の調査の依頼が再度ありました。つきましては各教会には帰参調査票を同封しております。帰参調査票には、帰参予定数・年祭当日の昼食弁当数(おにぎり2個入)併せて、教祖百四十年祭帰参の記念品(ハンドタオル)の希望数も記入頂き、今月20日までに必ずご報告下さい。詰所の受入の準備もござりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

## 【大教会神殿大掃除】

12月16日午前8時半より、大教会神殿大掃除をつとめさせて頂きます。お手伝い頂ける方は、ひのきしんの程よろしくお願ひいたします。

## 【婦人会】

### ◇天理教婦人会第107回総会

#### 『別席者とともに』

式典 立教 189年4月19日（日）

午前9時30分

場所 本部中庭、南・東礼拝場前

西境内地

式典終了後、支部の集い

## 記念行事 講演会

4月18日（土）午後5時

テーマ 「おやさま」

・第2食堂（第5食堂 映像）

## ◎研修員募集

少年会本部では、おぢばでの様々な研修やひのきしんなどの伏せ込みを通して、縦の伝

## ○ひながた勉強会（繁藤支部）

去る、11月25日、繁藤詰所にて「ひながた勉強会」を開催いたしました。当日は、受講してくださった方々と共に、ひながたを身近に感じ、心におさめることができました。ありがとうございました。

道を活発に推進していく人材を育成します。道につながる多くの若者たちが、この研修を修了し、国内外で少年会活動の中心となつて活躍しています。多くの仲間と共に少年会活動について学びたい方は団長までご連絡ください。

募集人数  
30名

出願期間 令和8年2月28日まで（必着）

出願資格 団長が推薦し、直属教会長が認めた者・ようぼく

（おさづけ拝戴予定の者も可）

## 【おさづけの理拝戴者（10月）】

大教会 武市晴道

## 【教人登録（10月）】

紋別 渡辺朝之

## 【教会长資格検定講習会（10月）】

- ・東講堂（旧別席場 音声のみ）
- ・東右第1棟4階講堂



## 【修養科修了生（1011期）】

南田川  
中山 力繁藤カリ  
筒井 慶喜

私は、修養科生活で色々学びましたが一番心に残ったのは「頑張る心」と「たんのう」です。それは、修養科に行くことが急に決まり、他にもやりたいことがありました。友達に、修養科に行けばそれ以上のものを与えて頂けるよ、と言われ本当にそうなりました。まさかこんないろんな出会い、学び、考え方がある事を教えてくれました。前はいろんな事を始めるのが怖かったのですが、でも修養のおかげで自信を持つことが出来て、間違っても大切な友達にも頼ってもいいと習いました。そして始めてでも

きらめる事が多かったので、続ける事の大切さを学びました。何回も心定めをやめたい気持ちが多かったけど、友達のおかげで最後まで頑張るように出来ました。本当に私が出来るんだなと信じるようになりました。修養科は3ヶ月で終わるけど修養の意味はこれからです。学んだ事を毎日続けたいと思います。修養科に行ってよかったです。

筒井慶喜

## 仕切り月（11月）

- 3日 新居濱分教会
- 6日 高阪分教会
- 8日 南田川分教会
- 10日 赤池分教会
- 10日 新立分教会
- 15日 富久地分教会
- 16日 城幡分教会



新居濱分教会



高阪分教会



城幡分教会

教祖140年祭 三年千日の活動方針

# 明日に希望を、 今日を陽気に

～ひながたを心に、プラスワンの誠真実を～

## 実践目標

教会に人をお連れし、たすかる道を伝えよう  
 誠の理を、日々に働くかそう  
 おさづけの取り次ぎ、チラシ配りの推奨  
 天理カードの登録推奨（目標 10,000 人）

教えに親しみ、ひながたを心の頼りに明るく歩もう  
 信者の栄を毎日拝読する  
 ご守護に気づき、身近な人に信仰を伝えよう  
 お道と社会に貢献できるようぼくを育てよう

ふしから芽が出るご守護をいただこう  
 心を定め、日々の理づくり・徳積みに励もう  
 「声は肥」旬を外さないよう +1 の声がけを  
 月次祭を賑やかに勤めよう（仕切り月の実施）



繁藤公式 LINE で講話やブログなどを配信しています。  
 ぜひご登録ならびにご紹介をお願いします。



天理教繁藤大教会  
 SHIGETO